

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

2分間スピーチ

授業で数名ずつスピーチをおこなう。クラス全員の前で声を出すことにより、次のことを身につけるねらいがある。

(ア) ねらい

- 落ち着き 聞く人を見て、適度の緊張状態でも話せるようにする。
- 発声 声を数十人に聞こえるように発することができるようになる。
- 構成 原稿を見ず、話の内容をまとめて、わかりやすく話せるようになる。

入社試験の面接の時の緊張と、クラスの前でかしまって話するときの緊張と、どちらが大きいかというと、クラスの前で話するときだろう。これを経験しておけば、面接試験でも大丈夫。

(イ) 方法

- ランダムにあてる（前の時間に指名する）。 1回につき2分以内。 1時間に2～3名。
- 3学期末まで続け、数回スピーチをする機会がある。
- 1分45秒になったら合図を送るので、その後20秒以内にやめること。（20秒たったら打ち切る。）

(ウ) 内容

基本的に自由であるが、必ず肯定的、前向きな内容にし、否定的、批判、文句、後ろ向きなものは不可とする。思いつかない人は次から選んでみる。（スピーチの話し出しだけ書く）

- 「私が勧める本は です。お勧めの点は3点あります。1点目は……」
- 「私が将来になりたいものは です。その理由は3点あります。1点目は……」
- 「私が知っている は3点あります。1点目は……」
- 「私の高校生活をひとことで表すと です。その理由は3点あります。1点目は……」
- 「私の将来したいことは です。どうしてそう考えたのか理由は3点あります。1点目は……」

(エ) フォーマット

- ナンバリングとラベリングを使う。 ラベルは2～3つ。 **敬語を使う。**
- 「えーっと」や「うーん」、「あー」などをなるべく発しない。 顔をみんなに向けて話す。

(オ) 評価

スピーチ有効回数

次の場合はスピーチ有効回数に含まれない。

- ㊤笑ったりやついて正面を見られない場合
 - ㊦無言や「えー」、「あー」などというメタ・ディスコースが30秒以上続いた場合。
 - ㊧1分45秒以前にスピーチを打ち切った（または無言になった）場合。
 - ㊨否定的、批判的、文句などの後ろ向きな内容だった場合。
- 相互評価点数

- ・声の大きさや発音（滑舌）がよく聞き取れたか。
- ・話す速度は聞き取りやすいものであったか。
- ・わかりやすい内容だったか。
- ・聞いている人に視線を向けて話していたか。

